

まちづくり検討会委員から寄せられた意見

No.	意見	報告書に反映した内容
1	<p>① まちづくりの目標、方向性について</p> <p>方向性の第一「安心して暮らせるまちづくり」を「安心して住み続けられるまちづくり」に変えてほしい。 団地住民の願いであり、スローガンとなっています。 少子、高齢化が進む団地の住まいが基本になって将来を考えるべきではないと思い、検討してほしいと提案します。</p>	<p>【第2章第1】4. まちづくりの目標・方向性</p> <p>P12に「住民がいつまでも安心して住み続けられ、団地地区が活性化するよう、」を追加しました。</p>
2	<p>② まちづくりのプロセスについて</p> <p>10年、20年のスパンで考える息の長い計画とは思いますが、UR、公社とも建て替えはしない、ストック活用とのことで、基本的なことが変わらなければ計画は進まないと思います。また、住民の合意が大前提だと考えますので、更に年数はかかることと思いますので、第三ステップまでの構想は絵に描いたモチになるのではないかと思いますので、再検討してはどうかと思います。 この計画を見て、団地の入居者はますます増えないのではないのでしょうか。</p>	<p>【第2章第3】1. 構想の実現に向けて</p> <p>P29に「少子高齢化し、かつ人口減少社会における団地の在り方をふまえて、社会の変化を見ながら随時検討と検証を重ね、適切な対応が必要になると思われます。」を追加しました。</p>
3	<p>③ その他</p> <p>山崎団地の憩いの場であった「サンテオレ」という喫茶店が1月31日で閉店になることになりました。 他の商店もギリギリの商い(アキナイ)をしているとのことです。 また、このほど痴呆の妻を介護していたご夫婦が無理心中という、ショッキングな事件がありました。 空き家対策とケア付き住宅の確保等急がなければならないのではないのでしょうか。</p>	<p>【第2章第1】4. まちづくりの目標・方向性</p> <p>P12に「住民がいつまでも安心して住み続けられ、団地地区が活性化するよう、」を追加しました。</p>
4	<p>これから団地住棟には防災設備を設置の必要性の記載がありません</p>	<p>【第2章第2】2. 地区の整備方策</p> <p>P18の「2)多様な住宅の供給」の施策に記載があります。</p>
5	<p>学校跡地を中心になっておりますが、交通機関については記載がありません。コミュニティバス等についての具体的な提案が必要です。</p>	<p>【第2章第2】2. 地区の整備方策</p> <p>P20の「1)まちの中心核の形成」の施策に記載があります。</p>
6	<p>学校跡地を各中心『拠点』としての役割についての明確化が必要でしょう。 災害の際に地域『避難場所』の機能について提案が必要です。</p>	<p>【第2章第2】2. 地区の整備方策</p> <p>P22の「(3)学校跡地」の説明文に、「公共空地を確保するなど防災機能を維持・向上させることとします。」を追加しました。</p>